



2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東
 コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 榊田 裕之 TEL 03-5977-3377
 定時株主総会開催予定日 2020年9月28日 配当支払開始予定日 2020年9月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期の連結業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	22,826	6.4	3,679	△17.5	3,756	△16.2	2,534	△6.5
2019年6月期	21,451	1.2	4,462	29.8	4,484	30.0	2,709	14.0

(注) 包括利益 2020年6月期 2,529百万円 (△6.0%) 2019年6月期 2,692百万円 (12.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	435.27	432.73	17.9	12.2	16.1
2019年6月期	402.61	400.71	17.4	17.2	20.8

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	31,833	14,429	45.0	2,499.44
2019年6月期	29,793	14,037	46.8	2,255.99

(参考) 自己資本 2020年6月期 14,337百万円 2019年6月期 13,945百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	664	△987	623	2,050
2019年6月期	△2,465	△748	1,889	1,748

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期	—	0.00	—	70.00	70.00	432	16.0	2.8
2020年6月期	—	0.00	—	80.00	80.00	458	18.1	3.2
2021年6月期 (予想)	—	0.00	—	80.00	80.00		15.8	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,300	2.1	4,500	22.3	4,400	17.1	2,900	14.4	498.13

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：有
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年6月期	7,265,212株	2019年6月期	7,265,212株
2020年6月期	1,528,983株	2019年6月期	1,083,605株
2020年6月期	5,821,793株	2019年6月期	6,729,586株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年6月期の個別業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	22,343	5.6	3,473	△19.5	3,676	△14.7	2,498	△2.9
2019年6月期	21,163	0.6	4,314	31.2	4,312	29.9	2,573	13.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期	435.27	432.73
2019年6月期	382.46	380.66

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年6月期	31,461		14,139		44.7	2,499.44		
2019年6月期	29,510		13,780		46.4	2,214.38		

(参考) 自己資本 2020年6月期 14,047百万円 2019年6月期 13,688百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15
(たな卸資産の固定資産振替)	15
4. 個別財務諸表及び主な注記	16
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	20
5. その他	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、米国経済や国内設備投資が堅調に推移する一方、米中貿易摩擦などの影響から全体として足踏み状態が続いているなか、中国から感染が拡大した新型コロナウイルスの影響で大きくブレーキがかかりました。

このような経済環境において、国内向けイリジウムルツボの受注は顧客の生産調整の影響を受けましたが、サーバーに使用されるHDDの増産を受けHD向けのルテニウムターゲットの受注回復が鮮明となり、米国向けイリジウムルツボ、触媒、有機EL向け並びに電極向けの化合物も堅調に推移し、半導体向け温度センサー、銀合金ターゲットの受注も回復いたしました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で先行きの不透明感は強いものの、取引先のリスク管理の観点から在庫積み増しによる受注増も見られました。その結果、当連結会計年度において、売上高22,826百万円（前年同期比6.4%増）、売上総利益6,070百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益3,679百万円（前年同期比17.5%減）、経常利益3,756百万円（前年同期比16.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2,534百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

米国向けのイリジウムルツボやガラス溶解装置向け貴金属製品の受注が堅調に推移したものの、スマートフォンなどのSAWデバイス（必要な周波数信号を取り出すデバイス）に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けのイリジウムルツボの受注回復が遅れたことから、売上高4,074百万円（前年同期比13.0%増）、売上総利益909百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

[薄膜]

世界的に在宅勤務が増えるなか、サーバーに使用されるHDDの増産を受けHD向けルテニウムターゲットの受注回復が鮮明となり、スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注も回復したことにより期初予算を上回る売上高9,286百万円（前年同期比0.4%増）、売上総利益2,665百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

[センサー]

半導体製造装置メーカーからの受注は軟調だったものの、海外半導体メーカーからの受注や高付加価値製品の受注が堅調に推移したことから、売上高2,473百万円（前年同期比11.0%増）、売上総利益921百万円（前年同期比50.3%増）となりました。

[ケミカル]

触媒や有機EL向け及び電極向けの貴金属化合物の受注、並びに貴金属原材料の販売や精製受注は回復しましたが、貴金属価格の上昇が一段落したこともあり、売上高6,879百万円（前年同期比10.5%増）、売上総利益1,546百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

②海外売上

当連結会計年度における海外売上高は13,169百万円（総売上高に占める割合は57.7%となりました。地域別にはアジア向け輸出売上高7,943百万円（海外売上高に占める割合は60.3%）、北米向け輸出売上高2,761百万円（海外売上高に占める割合は21.0%）、欧州向け輸出売上高2,458百万円（海外売上高に占める割合は18.7%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は31,833百万円となり、前事業年度比2,039百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が303百万円、売掛金が616百万円、有形固定資産が1,107百万円それぞれ増加したことによるものです。負債合計は17,404百万円となり、前事業年度比1,647百万円の増加となりました。これは主に、買掛金が1,218百万円、短期借入金が5,400百万円それぞれ減少しましたが、長期借入金が増加したことによるものです。純資産合計は14,429百万円となり、前事業年度比391百万円の増加となりました。これは主に、自己株式が1,705百万円増加しましたが、繰越利益剰余金が2,101百万円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は2,050百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は664百万円となりました。

これは主に、売上債権が561百万円増加し、仕入債務が933百万円減少し、法人税等の支払額が1,617百万円ありましたが、税引前当期純利益が3,756百万円あったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は987百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が969百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は623百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出が930百万円、自己株式の取得による支出が1,730百万円、配当金の支払額が432百万円ありましたが、長期借入金による収入が3,840百万円あったことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標

	2019年6月末	2020年6月末
自己資本比率（%）	46.8	45.0
時価ベースの自己資本比率（%）	69.0	112.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	19.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	11.0

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

（注1）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式をベースに計算しております。

（注2）有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（注3）前連結会計年度のキャッシュ・フロー対有利子負債比率とインタレスト・カバレッジ・レシオについては営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大による不透明感は強いものの、半導体業界の積極投資や5G関連での需要拡大を背景に、主力のシリコンウエハの受注回復やサーバー増設やHDD容量拡大などによるHD向けルテニウムターゲットの堅調な受注が見込まれ、精製能力拡大に伴う回収精製受注の伸びが予想されます。一方、銀合金ターゲットは主要顧客の仕様変更の影響から受注減が予想されます。

以上により、2021年6月期の業績見通しにつきましては、売上高23,300百万円（前期比2.1%増）、営業利益4,500百万円（前期比22.3%増）、経常利益4,400百万円（前期比17.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,900百万円（前期比14.4%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、前々連結会計年度より連結財務諸表を作成しており、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性、ならびにIFRS（国際財務報告基準）に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,748	2,052
受取手形及び売掛金	2,499	3,051
商品及び製品	539	961
仕掛品	1,590	1,542
原材料及び貯蔵品	12,841	12,695
未収消費税等	595	473
その他	86	109
流動資産合計	19,901	20,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,013	6,132
減価償却累計額	△3,719	△3,919
建物及び構築物 (純額)	2,294	2,213
機械装置及び運搬具	7,410	8,437
減価償却累計額	△3,766	△3,973
機械装置及び運搬具 (純額)	3,643	4,463
土地	1,724	1,727
リース資産	272	355
減価償却累計額	△206	△235
リース資産 (純額)	66	119
建設仮勘定	1,193	1,505
その他	284	305
減価償却累計額	△237	△258
その他 (純額)	47	47
有形固定資産合計	8,970	10,077
無形固定資産		
リース資産	0	0
その他	51	46
無形固定資産合計	52	46
投資その他の資産		
投資有価証券	28	27
繰延税金資産	735	680
その他	107	115
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	870	822
固定資産合計	9,892	10,946
資産合計	29,793	31,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,329	1,110
リース債務	19	29
未払法人税等	1,235	745
短期借入金	8,000	2,600
1年内返済予定の長期借入金	755	820
未払金	550	827
賞与引当金	267	257
役員賞与引当金	65	72
設備関係未払金	225	219
その他	106	177
流動負債合計	13,555	6,860
固定負債		
長期借入金	1,217	9,362
リース債務	47	90
退職給付に係る負債	504	659
資産除去債務	25	25
長期未払金	401	401
その他	4	4
固定負債合計	2,201	10,543
負債合計	15,756	17,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	5,414	5,414
利益剰余金	8,647	10,749
自己株式	△5,552	△7,257
株主資本合計	13,954	14,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	1
為替換算調整勘定	△12	△14
その他の包括利益累計額合計	△9	△13
新株予約権	92	92
純資産合計	14,037	14,429
負債純資産合計	29,793	31,833

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	21,451	22,826
売上原価	14,724	16,755
売上総利益	6,726	6,070
販売費及び一般管理費	2,264	2,391
営業利益	4,462	3,679
営業外収益		
為替差益	13	44
助成金収入	33	85
受取家賃	—	16
デリバティブ評価益	6	—
その他	4	4
営業外収益合計	58	150
営業外費用		
支払利息	24	62
投資有価証券評価損	4	—
固定資産除却損	5	7
その他	1	3
営業外費用合計	35	73
経常利益	4,484	3,756
税金等調整前当期純利益	4,484	3,756
法人税、住民税及び事業税	1,561	1,167
法人税等調整額	214	54
法人税等合計	1,775	1,222
当期純利益	2,709	2,534
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	2,709	2,534

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益	2,709	2,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△1
為替換算調整勘定	△7	△2
その他の包括利益合計	△17	△4
包括利益	2,692	2,529
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,692	2,529
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,445	5,414	6,656	△252	17,263
当期変動額					
剰余金の配当			△718		△718
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,709		2,709
自己株式の取得				△5,300	△5,300
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,991	△5,300	△3,308
当期末残高	5,445	5,414	8,647	△5,552	13,954

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	12	△4	7	63	17,334
当期変動額					
剰余金の配当					△718
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,709
自己株式の取得					△5,300
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△9	△7	△17	28	11
当期変動額合計	△9	△7	△17	28	△3,297
当期末残高	3	△12	△9	92	14,037

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,445	5,414	8,647	△5,552	13,954
当期変動額					
剰余金の配当			△432		△432
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,534		2,534
自己株式の取得				△1,730	△1,730
自己株式の処分				25	25
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計			2,101	△1,705	396
当期末残高	5,445	5,414	10,749	△7,257	14,351

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	3	△12	△9	92	14,037
当期変動額					
剰余金の配当					△432
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,534
自己株式の取得					△1,730
自己株式の処分					25
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1	△2	△4	-	△4
当期変動額合計	△1	△2	△4	-	391
当期末残高	1	△14	△13	92	14,429

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,484	3,756
減価償却費	429	461
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	24	62
為替差損益(△は益)	△13	6
売上債権の増減額(△は増加)	575	△561
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,504	△229
仕入債務の増減額(△は減少)	2,006	△933
未収消費税等の増減額(△は増加)	260	122
たな卸資産から固定資産への振替	△1,095	△665
固定資産からたな卸資産への振替	263	98
その他	△3	156
小計	△1,571	2,275
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△24	△60
法人税等の支払額	△902	△1,617
補助金の受取額	33	66
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,465	664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△667	△969
その他	△80	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△748	△987
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,000	△100
長期借入れによる収入	800	3,840
長期借入金の返済による支出	△892	△930
自己株式の取得による支出	△5,300	△1,730
配当金の支払額	△718	△432
その他	—	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,889	623
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,320	302
現金及び現金同等物の期首残高	3,068	1,748
現金及び現金同等物の期末残高	1,748	2,050

(注) 当連結会計年度現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表の現金及び預金の差は、株式会社韓国フルヤメタルの定期預金1百万円となります。

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年9月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式452,200株の取得を行いました。この結果、当連結累計期間において自己株式が1,729百万円増加しました。また、2019年9月26日開催の株主総会決議に基づく同日開催の取締役会決議により、譲渡制限付株式報酬としての自己株式6,900株の処分の実施を行いました。この結果、当連結累計期間において自己株式が25百万円減少しました。よって当連結会計期間末において自己株式が7,257百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当連結会計年度より、新たに設立した株式会社Furuya Eco-Front Technologyを連結の範囲に含めております。変更後の連結子会社の数は3社であります。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付債務の計算方法の変更)

当社は、当連結会計年度末より、退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更しております。この変更は、対象従業員が300人を超えることが常態化したことに伴い、原則法により高い信頼性をもって退職給付債務を見積り、適切な引当金の計上及び期間損益の適正化を図ることを目的としたものであります。

この変更に伴い、当連結会計年度末における退職給付に係る負債が99百万円増加し、同額を退職給付費用として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、工業用貴金属製品の製造販売を中心に事業展開しております。

当社は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「電子」、「薄膜」、「センサー」及び「ケミカル」の四つを報告セグメントとしております。

「電子」は電子製品の製造過程に用いられる電子部品の製造販売を、「薄膜」は薄膜形成に使用される貴金属ターゲットの製造販売を、「センサー」は主に半導体製造装置に用いられる温度センサーの製造販売を、「ケミカル」は貴金属化合物の製造販売及び貴金属の回収・精製等をそれぞれ行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,604	9,246	2,228	6,223	21,302	148	21,451
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,604	9,246	2,228	6,223	21,302	148	21,451
セグメント利益	1,113	3,009	613	1,959	6,695	31	6,726

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2)セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(注3)資産の額につきましては、報告セグメントに跨って同一の製造工程を用いる場合があるため、投資の意思決定上においても区分しておらず、各報告セグメントに配分しておりません。

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,074	9,286	2,473	6,879	22,713	112	22,826
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,074	9,286	2,473	6,879	22,713	112	22,826
セグメント利益	909	2,665	921	1,546	6,043	27	6,070

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2)セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(注3)資産の額につきましては、報告セグメントに跨って同一の製造工程を用いる場合があるため、投資の意思決定上においても区分しておらず、各報告セグメントに配分しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

地域	日本	アジア (日本以外)	北米	欧州	合計
外部顧客への売上高	10,234	7,150	2,502	1,562	21,451

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
デノラ・ペルメレック株式会社	2,514	ケミカル

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

6. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

地域	日本	アジア (日本以外)	北米	欧州	その他	合計
外部顧客への 売上高	9,657	7,943	2,761	2,458	5	22,826

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
デノラ・ペルメレック株式会社	2,480	ケミカル

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

6. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	2,255.99円	2,499.44円
1株当たり当期純利益金額	402.61円	435.27円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	400.71円	432.73円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	14,037	14,429
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	92	92
(うち新株予約権(百万円))	(92)	(92)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	13,945	14,337
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	6,181	5,736

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	2,709	2,534
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	2,709	2,534
期中平均株式数(千株)	6,729	5,821
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	31	34
(うち新株予約権(千株))	(31)	(34)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

当社は、2020年5月27日に低温活性触媒を活かした環境事業を行う「株式会社Furuya Eco-Front Technology」を当社の出資比率100%で設立し、Anglo Platinum Marketing Limited (英国、ロンドン、以下APML社といいます)との間で2020年7月1日に合弁契約を締結しました。その結果、当社の出資比率は60%、APML社の出資比率は40%、資本金は250百万円となりました。

(たな卸資産の固定資産振替)

当社グループは、当連結累計期間において、保有目的の変更により、たな卸資産の一部を有形固定資産に振替えております。これにより「原材料及び貯蔵品」が169百万円減少し、「機械装置及び運搬具」が169百万円増加しております。また、「商品及び製品」が495百万円減少し、「機械装置及び運搬具」が495百万円増加しております。一方で有形固定資産の一部をたな卸資産に振替えております。これにより「建設仮勘定」は98百万円減少し、「仕掛品」が98百万円増加しております。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,347	1,371
受取手形	130	65
売掛金	2,472	3,260
商品及び製品	501	932
仕掛品	1,590	1,542
原材料及び貯蔵品	12,841	12,695
前払費用	77	73
未収消費税等	595	473
その他	15	55
流動資産合計	19,571	20,469
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,235	2,142
構築物	57	70
機械及び装置	3,643	4,461
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	46	47
土地	1,724	1,727
リース資産	66	119
建設仮勘定	1,193	1,505
有形固定資産合計	8,967	10,074
無形固定資産		
特許権	0	0
ソフトウェア	14	20
電話加入権	2	2
施設利用権	34	23
商標権	0	0
リース資産	0	0
無形固定資産合計	52	46
投資その他の資産		
投資有価証券	28	27
関係会社株式	59	60
保険積立金	48	54
長期前払費用	2	1
繰延税金資産	736	681
その他	42	46
投資その他の資産合計	918	870
固定資産合計	9,938	10,991
資産合計	29,510	31,461

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,301	1,048
短期借入金	8,000	2,600
1年内返済予定の長期借入金	755	820
リース債務	19	29
未払金	568	847
未払法人税等	1,232	725
賞与引当金	259	242
役員賞与引当金	65	72
設備関係未払金	225	219
前受金	29	92
その他	72	79
流動負債合計	13,528	6,777
固定負債		
長期借入金	1,217	9,362
リース債務	47	90
長期未払金	401	401
退職給付引当金	504	659
資産除去債務	25	25
その他	4	4
固定負債合計	2,200	10,543
負債合計	15,729	17,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金		
資本準備金	5,414	5,414
資本剰余金合計	5,414	5,414
利益剰余金		
利益準備金	9	9
その他利益剰余金		
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	8,288	10,355
利益剰余金合計	8,378	10,444
自己株式	△5,552	△7,257
株主資本合計	13,685	14,046
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3	1
評価・換算差額等合計	3	1
新株予約権	92	92
純資産合計	13,780	14,139
負債純資産合計	29,510	31,461

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高		
製品売上高	20,357	22,231
商品売上高	806	111
売上高合計	21,163	22,343
売上原価		
製品売上原価		
製品期首たな卸高	320	501
当期製品製造原価	13,918	17,234
合計	14,238	17,735
他勘定振替高	—	495
製品期末たな卸高	501	932
製品売上原価	13,737	16,307
商品売上原価		
商品期首たな卸高	0	0
当期商品仕入高	773	89
合計	773	89
商品期末たな卸高	0	0
商品売上原価	773	89
売上原価合計	14,511	16,396
売上総利益	6,652	5,946
販売費及び一般管理費	2,338	2,472
営業利益	4,314	3,473
営業外収益		
受取利息	0	0
デリバティブ評価益	6	—
受取配当金	0	107
受取家賃	—	16
為替差益	—	55
助成金収入	33	85
その他	10	10
営業外収益合計	50	275
営業外費用		
支払利息	24	62
投資有価証券評価損	4	—
デリバティブ評価損	—	0
為替差損	17	—
その他	6	9
営業外費用合計	52	73
経常利益	4,312	3,676
税引前当期純利益	4,312	3,676
法人税、住民税及び事業税	1,525	1,121
法人税等調整額	212	55
法人税等合計	1,738	1,177
当期純利益	2,573	2,498

【製造原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)		当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
I 材料費	※2	11,466	74.1	12,747	74.6
II 労務費		1,709	11.1	1,857	10.9
III 経費		2,294	14.8	2,482	14.5
当期総製造費用		15,470	100.0	17,087	100.0
期首仕掛品たな卸高		977		1,590	
合計		16,448		18,678	
他勘定振替高	※1	938		△98	
期末仕掛品たな卸高		1,590		1,542	
当期製品製造原価		13,918		17,234	

(注) ※1. 他勘定振替高は当連結会計年度にたな卸資産を固定資産に振替えた金額であります。

(原価計算の方法)

実際原価による個別原価計算を採用しております。

(注) ※2. 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
外注加工費 (百万円)	473	355
減価償却費 (百万円)	417	449
工場消耗品費 (百万円)	495	593
水道光熱費 (百万円)	187	188

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余 金合計	
					別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	5,445	5,414	5,414	9	80	6,433	6,522	△252	17,129
当期変動額									
剰余金の配当						△718	△718		△718
当期純利益						2,573	2,573		2,573
自己株式の取得								△5,300	△5,300
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	1,855	1,855	△5,300	△3,444
当期末残高	5,445	5,414	5,414	9	80	8,288	8,378	△5,552	13,685

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	12	12	63	17,206
当期変動額				
剰余金の配当				△718
当期純利益				2,573
自己株式の取得				△5,300
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△9	△9	28	18
当期変動額合計	△9	△9	28	△3,425
当期末残高	3	3	92	13,780

当事業年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余 金合計	
					別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	5,445	5,414	5,414	9	80	8,288	8,378	△5,552	13,685
当期変動額									
剰余金の配当						△432	△432		△432
当期純利益						2,498	2,498		2,498
自己株式の取得								△1,730	△1,730
自己株式の処分								25	25
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計						2,066	2,066	△1,705	361
当期末残高	5,445	5,414	5,414	9	80	10,355	10,444	△7,257	14,046

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	3	3	92	13,780
当期変動額				
剰余金の配当				△432
当期純利益				2,498
自己株式の取得				△1,730
自己株式の処分				25
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1	△1	-	△1
当期変動額合計	△1	△1	-	359
当期末残高	1	1	92	14,139

5. その他

該当事項はありません。